



岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和8年10月23日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
畜産振興課	酪農・飼料係	佐藤	内線 4138 直通 058-272-8447 FAX 058-278-2694

飼料用稲における再生二期作の収穫を行います

国際情勢の変化による輸入飼料価格の高騰が続いているなか、県では今年度より自給飼料生産技術や自給飼料率の向上を目的とした飼料用稲における再生二期作の実証実験を行っております。

このたび、モデル圃場において再生稲の刈り取りを下記日程にて行います。

記

- 1 日 時 令和8年11月5日（木）10：00から
- 2 開催場所 可児市下切 モデル圃場（別添参照）
- 3 内 容 再生稲の刈り取り
- 4 その他 天候や圃場の状況により、日程を変更する場合があります。取材を希望される場合は、11月4日（水）までに担当あてに御連絡ください。

<飼料用稲>

牛などの家畜に食べさせる粗飼料を作るために栽培される稲のこと。稲の子実が完熟する前に穂部（粃）と茎葉部を同時に収穫し、ロール状に成型してフィルム（ラップ）で密閉し、乳酸発酵させて家畜に給与する。

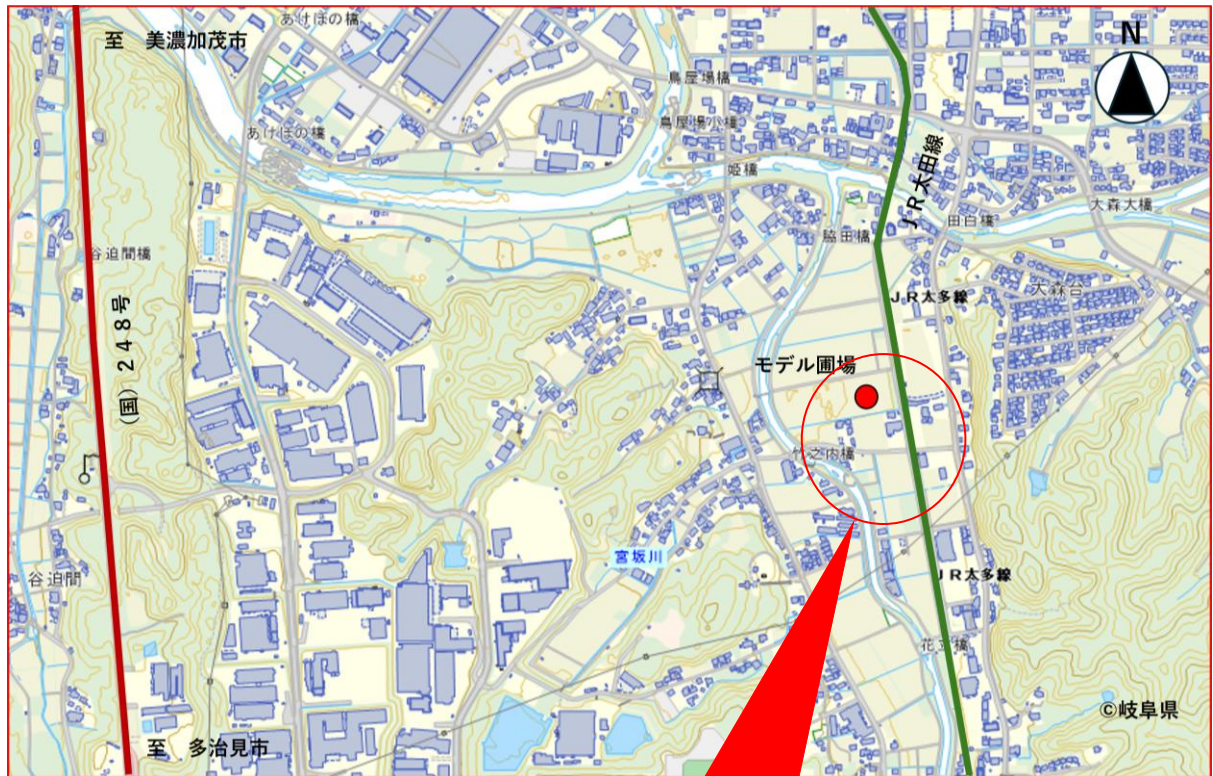
<再生二期作>

稲を刈り取った後の切株から発生する茎（ひこばえ）を再び育て、再生稲として収穫する栽培方法。1回の田植えで2回の収穫を可能とする。近年の温暖化による年間の気温上昇により、稲の生育期間が延びたことによって注目されるようになった。

別 添

<位置図>

○モデル圃場



1/10000



1/2500